

令和元年度事務事業実績評価表

1 事業概要

		課名	工業課	事業No.	215
事務事業名		会計	一般会計		
		事業区分	政策	実施区分	継続
		開始		終了	
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称	
	戦略計画		1	若者が帰ってこられる産業をつくる	
	分野別計画			地域経済活性化プログラム	
法令・例規等					
事業目的		対象	製造業等を支える人材		
		意図	地域の産業振興に向けた技術力の向上、人材の確保		

2 事業内容

1年度取組	取組内容		経費の内容				事業費(千円)				
	飯田産業技術大学については中小企業の社会人を対象にした基礎的な技術、経営、特別の11講座と、食品関係を新たに11講座開催し、さらに高度な知識やスキルを習得する特別な過程1年コースを実施しました。次世代を対象にした事業としてスーパーサイエンス事業や子ども科学工作教室等を開催し、地域産業の認知度の向上やものづくりを体験する取り組みを実施しました(コロナの影響により一部講座が中止となりました)。今回新たに企業展示説明会を実行委員会形式で開催し、高校等9校、企業71社が参加しアンケートにより高評価を得ました。信州大学航空機システム共同研究講座の学生については、奨学金及び引越しに関わる経費を支援しました。		スーパーサイエンス、子ども科学教室、JAXA連携事業等				1,074				
			飯田産業技術大学事業				2,900				
			信州大学院飯田コース事業				3,000				
			信大航空機システム共同研究講座広域連合負担金				4,047				
			信大航空機システム共同研究講座コンソーシアム補助金				1,150				
その他の経費				0							
活動指標	指標名 (数値で表せる活動量)	単位	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		
			計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	
	次世代育成を目的とした講座参加者数	人	300	253	300	264	300	200			
	信大「特別の課程」1年コース修了者数	人	8	11	8	4	8	4			
	飯田産業技術大学参加者数	人	1,000	1,007	1,000	913	1,000	971			
	航空機システム共同研究講座学生数	人		2		7	7	8			
1年度決算(千円)	予算額	16,026	特定財源内訳及び補足事項								
	決算額	12,171	(そ) 企業版ふるさと納税 1,050千円								
	財源の状況	国庫支出金	0	(そ) 諸収入 4千円							
		県支出金	0								
		地方債	0								
		その他	1,054								
一般財源	11,117										

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)	
1	1	7	1	5	10	16	10,126	6,271	次世代を担う産業人材育成事業費	
2	1	7	1	5	10	18	2,900	2,900	飯田産業技術大学事業費	
3	1	7	1	5	10	28	3,000	3,000	ものづくり高度人材育成事業費	
4										
5										
6										
7										
振返り課題認識		・産業界から、製造現場における技術・技能者や管理者の研修による底上げや、人材不足を背景に省力化に伴うAI・IoT等の導入への支援強化が求められています。人材育成の拠点としてエス・バードの機能充実を図るため、大人から次世代を担う人材が集えるような機能を強化する必要があります。食品分野では食品系試験室の利活用とあわせて、機能的食品等の開発に向けた人材育成の強化が必要です。								
上記の課題解決のための有効策		・講座の計画・実施にあたっては専属のスタッフを置き、多様化している企業ニーズに対応した講座の内容を検討しつつ、大学や研究機関等とのネットワークを活かしながら講座内容の充実を図ります。								
次年度に向けての取り組み		・食品分野では、信州大学農学部と連携し「信州フードスペシャリスト養成プログラム」事業を新たに支援します。また、エス・バード内に「ものづくり工房(仮称)ファブ☆スタ」を設置し、地元企業や信州大学の学生の支援を得ながら、次世代のものづくり人材を育成します。AI・IoT等の導入に向けた研修会等は、長野県の支援機関と連携して進めます。								